

フルカラー毎分 150m 実現

多様なフィニッシングにも対応

(株)ミヤコシは、IGAS2007 において、カラープリンターでは世界最速となる毎分 150m を実現する「MJP600 フルカラーインクジェットプリンター 2 タワーシステム」などを出展する。(小間番号 E627)

MJP600 フルカラーインクジェットプリンター



【MJP600 フルカラーインクジェットプリンター 2 タワーシステム】

オンデマンドプリンターでは、最高域となる毎分 150m でのフルカラーでのフルバリアブルプリントを実現(現行バージョンの 50m/分から3倍の印刷速度を実現)。解像度 600dpi、1bit(2 値)での印刷モードに加え、2bit、3bits の印刷モードを装備。

使用する用紙や品質要求に応じて印刷モードを選択できるなど多様化するユーザーニーズにマルチに対応する。

高速連続印刷の品質安定性を現行 MJP より、更に向上させると共にドロップオンディマンド方式のプリントヘッドでは必須であるページ・ヘッド 洗浄時間を大幅に短縮、高い連続運転の安定性と高稼働率を実現している。

プリントヘッド形状を従来の 1 色・1 ヘッド式から 4 色・1 ヘッド方式のモジュールタイプに変更し、装置全長を大幅に削減。ISS コントローラーを現行の自立操作盤式から装置制御用の GOTT画面の中に機能を移し、システム設置スペースの省スペース化を実現。

標準インクに、水性染料インクを採用。染料インクの採用により、ランニングコスト比重の高いインクコストを従来の水性顔料インクに比較し、低減が可能また、色表現域が広がり、より高い印刷品質表現が可能(従来通りの水性顔料インクの対応も可能)。

同社のフォーム印刷機メーカーとしてのノウハウを生かした用紙搬送機構造により、用紙厚さにかかわらず、天地、左右、表裏の見当精度、印刷長さ加工ピッチ等々において、高精度の印刷が可能。また、プレプリント済みの用紙に対しての高精度なスポットカラー印刷を実現する追い刷りモードも準備。(オプション装置)

なお同社では、連続帳票加工(ミシン、マージナルパンチ)シート出し、セット出し等の幅広いフィニッシングニーズにも対応していく。

(2007 年 9 月 15 日 印刷ジャーナル掲載)